

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

1. 教育理念・目標

評価項目	現状	根拠・実施内容 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
<p>1-1 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)</p>	<p><理念> 創立者である坂本眞の「建学の精神」を受け、以下の理念が定められている。 「国民の保健衛生と伝統医学の発展に寄与し、広く社会に貢献する有為な人材を育成することである」</p> <p><教育目的> 本校は、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師及び鍼灸マッサージの教員を養成するにあたり、それぞれに必要な高度の専門知識及び技術を授け、国民の保健衛生の増進に寄与するとともに、広く社会に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。</p> <p><育成人材像> ●あはき科・柔道整復科 ①医療現場において患者の心と体を癒すことのできる医療人としての人格を持った人材。 ②医療を行うに当たり必要な知識・技術と臨床力を身に付けた人材。 ③臨床現場を見据えた実践的な教育により、医療を通じて社会に貢献できる人材。 ●教員養成科 ①社会のニーズに対応できる高い実践的臨床能力を持った人材。 ②鍼灸マッサージ養成施設の教員として相応しい、臨床力と指導力を有した人材。</p>	<p>学校案内 ホームページ 自己点検・自己評価の報告書</p>	<p>④ 3 2 1</p>
<p>1-2 学校における職業教育の特色は何か</p>	<p>●あはき科・柔道整復科 ①社会の実情に即した技能の修得と伝統に培われた技術の伝承。 ②臨床の幅を広げるための規定の時間枠外での技能の修得。 ③学年毎の専門的知識・技術の修得レベルにリンクした臨床実習による臨床力の養成。 ④基礎学力と専門性を修得できる体系的かつ効率を重視したカリキュラム構成。 ⑤クラス担任制による学生一人ひとりに対する生活、学習指導。 ⑥インターンシップ制導入やキャリアガイダンス実施による職業意識の醸成。 ⑦卒業生を対象にした卒後臨床研修講座の実施による臨床研鑽の場を提供。 ⑧施術所所長等、治療現場で活躍している講師からの基礎及び応用技術の修得(企業連携)。</p> <p>●教員養成科 ①豊富な実務経験と専門性を有する講師陣による質の高い教育。 ②鍼灸医療の多様性に十分応えることができるカリキュラムの構成。 ③臨床力向上のため理論、実技、臨床実習を一体化させた教育システムを構築。 ④臨床家としての即戦力と医療人としての資質の醸成。 ⑤教育者としての指導力と人間力を養成。</p>	<p>カリキュラム・時間割表・学校案内 シラバス・教育計画表(授業概要) 臨床実習マニュアル 卒前臨床教育実施資料(あはき、柔整) クラス担任表 インターンシップ実施資料(あはき、柔整) キャリアガイダンス実施資料(あはき、柔整) 卒後臨床研修講座実施資料</p>	<p>④ 3 2 1</p>

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

1. 教育理念・目標

評価項目	現状	根拠・実施内容 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①超高齢社会に対応できる医療人の育成を目指して、あん摩マッサージ指圧・はりきゅう・柔道整復の知識や技術だけでなく、医療系に必要な幅広い知識や技術の修得を計画している。</p> <p>②妊婦や子ども、育児中の家族など未来の日本を支える人材に対し、健康の担保を図るべく、地域、企業と連携をしてセミナーや講演会などを行った。</p> <p>●教員養成科</p> <p>①長寿社会を迎え、高まる健康志向に対応できる実践的臨床力を強化している。</p> <p>②学力・人間力が低下している昨今の学生に対応する指導力を備えた教員の育成を図った。</p> <p>●共通</p> <p>・学外の臨地実習施設先企業との連携を深めるため、①臨床教育、②就職採用、③人材発掘の三層において企業と学校が協働する、3層連携活動を提唱し、企業(治療院)に呼び掛けた。</p> <p>・社会人の学費支援を目的とした、専門実践教育訓練給付の認定校となっている。</p> <p>・呉竹会(総会・懇親会)を活用し、卒業生との交流により業界ニーズを情報収集している。</p> <p>・新たに制度化された、あはき受領委任払いについて、学生に知識習得をさせた。</p>	<p>新宿区信濃町子ども家庭支援センターにてセミナー</p> <p>毎日新聞主催 毎日学びのフェス参加</p> <p>東長寺での高齢者向け健康セミナー</p> <p>新宿せいが子ども園における小児セミナー</p> <p>校友会(呉竹会)の総会、講演会、懇親会</p>	④ 3 2 1
1-4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①学校案内およびホームページに理念、教育目標等を掲載した。</p> <p>②学校説明会への参加者や保護者に対して学校の特徴を説明した。</p> <p>③高等教育無償化の確認校として、本校の学校運営に関する情報公開を充実させた。</p> <p>●教員養成科</p> <p>ホームページ等に掲載する他、学会や業界団体の会報に積極的に掲載した。</p>	<p>学校案内 (理念、教育目標、育成人材像を掲載)</p> <p>ホームページ (自己点検・自己評価の報告書総括)</p>	④ 3 2 1
1-5 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	<p>業界団体や校友会(呉竹会)、学校関係者評価委員及び教育課程編成委員を通じて把握した業界のニーズを踏まえ、臨床能力を見据えた実践的な教育を行うなど確かな専門職としての技能と医療人としての人間性を得られるよう方向づけしている。</p> <p>外部の臨地実習施設と連携し、業界ニーズを実習の中で体験させ、臨床教育に反映していく。</p>	<p>臨地実習の実施計画</p> <p>災害と鍼灸・開業支援</p> <p>社会保障制度等の授業</p> <p>ゼミ、モチベーションアップセミナー、スーパートレーナーコース等の課外授業</p>	④ 3 2 1

(1)課題

- あはき科・柔道整復科
- ①生徒の保護者への情報提供をさらに充実し、学修に対して理解し、協力して戴くことが必要になってきている(高校卒見の新入生の増加)。
 - ②学校のHP等での情報提供において、日本における医療としてのあはき、柔道整復を、積極的にPRしていく必要がある。
 - ③業界のニーズの把握に向上の余地があり、検討すべきである。

(2)今後の改善方策

- あはき科・柔道整復科
- ①生徒の保護者に年間行事予定等の配付を行う。
 - ②学校HPにおいて在校生向け、卒業生向けの学校情報発信をより効果的に行っていく。
 - ③本校側から積極的に業界へ接触し、更なるニーズの把握に努める(企業訪問、来校型企業説明会における意見交換、臨地実習指導協力施設との情報共有、外部講師を招いての講習会実施等)。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

2. 学校運営

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
2-1 理念、教育目標に沿った運営方針が策定されているか	①理念および教育目標に沿った平成31年度呉竹学園の運営方針(理事長、法人事務局)について、校長会にて審議し、理事会において決定した。 ②呉竹学園の運営方針に沿って、平成31年度の教育目標および学校の運営方針を決定した。	理事会資料 校長会・事務長会議事録 人事評価個人シート	④ 3 2 1
2-2 理念、教育目標、運営方針に沿った事業計画が策定されているか	①平成30年度中に、平成31年度(令和元年度)事業計画に沿って学校を運営した。 ②教育目標を達成するため、教育内容(新たに臨床実習や通信教育)、教育設備、学生募集等について検討を重ね、令和2年度(令和元年度)事業計画および年間計画案を策定し、校長会および理事会において、呉竹学園の運営方針と合わせ、令和2年度(令和元年度)事業計画が承認された。	理事会資料 校長会議議事録 科長会議議事録 教務会議議事録	④ 3 2 1
2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	①呉竹学園の運営については呉竹学園寄付行為によって規定されている。 ②各校では、校長が決裁するもの、理事長が決裁するものが細則で定められている。 ③呉竹学園として各学校が共有すべき案件については理事長同席の下に校長会議で決定する。	理事会資料 校長会資料	④ 3 2 1
2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか	①呉竹学園法人事務局において人事、給与を統括し、常に制度整備を進めている。 ②人材を活性化するため、新人事評価制度を検討し、平成31年度にも新人事評価個人シートを継続試行した。また評価手法のブラッシュアップを行うため、評価者勉強会を実施した。	就業規則 人事評価個人シート(試行)	4 ③ 2 1
2-5 教務財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	①理事会における呉竹学園の運営に関する意志決定。 ②校長会における学園運営方針に沿った学校の事業計画に対する審議と承認。 ③科長会議における学校の実施計画の審議、事業計画の校長会への提案。 ④担当者会議での具体的実施項目の検討、および実施計画の提案と実行。	組織図、議事録	④ 3 2 1
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	①校長をはじめとする教職員が業団に加入し、業界との情報交換を行った。 ②学生が業界の理解をより深めるため、業団や学会の研修会への参加を促した。 ③業界団体から担当者を招聘して、学生に対して業界および業団の入会説明を実施した。 ④学内の防災訓練を行い、地域の消防局に実施報告書を提出した。 ⑤四谷では2つの町内会に入会し、四谷校舎建替工事について地域住民説明会を実施した。	教務記録 東洋療法学校協会主催学術大会資料 モチベーションアップセミナー、キャリアガイダンス、業団説明会、防災訓練報告書 町内会の入会履歴等	4 ③ 2 1
2-7 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	①ホームページにおいて教育目標、育成人材像および詳細なシラバスを掲載した。 ②教育活動の具体的な取組みをホームページ、SNS等において情報提供した。 ③卒業生向け会報誌を年2回発行し、学校運営情報、卒後研修のお知らせをした。	ホームページ SNS(フェイスブック、ツイッター等) 呉竹だより(校友会会報誌)	④ 3 2 1
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	①学内ネット(VPN)により教職員間の情報共有を可能とし、業務効率を向上している。 ②2020年1月のWindows7サポート終了前に、Win10への機器更新を完了した。 ③PCのウィルスソフトに加え、強固なセキュリティー機器を校舎毎に稼働している。	情報システム資料、Win10PCの導入計画、FortiGate及びCloud Edgeシステム運用手順書	④ 3 2 1

(1)課題

- ①教育目的に沿った運営が効率よく行われるよう、より一層、教員の教育力と技術力の強化を図らなければならない。
- ②教職員の能力を最大限に引き出すために、適正な人事評価制度が必要である。
- ③職員個々のPCが学内ネット(VPN)にアクセスするためのアクティブディレクトリー化や、業務データ格納、情報共有のためのクラウド化が今後の課題 → 在宅勤務の実現および効率化

(2)今後の改善方策

- ①呉竹学園教育センター主導で教員の教育力を高めていくとともに、3校の教職員が教育情報を共有出来るようにする。
- ②人事評価制度の試行をとおして完成度を上げていく。 ③事務職においても専門能力を向上するための教育を行う。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

3. 教育活動

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
3-1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育理念に沿い、教育目的・育成人材像を掲げ、これを達成するため、各学年においての目標に分けて教育課程の編成・実施方針が策定されている。	年間行事一覧 学習のめやす(カリキュラムに記載)	④ 3 2 1
3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①教育目的に合う人材を養成するために、各学年における到達レベルを設定し、それに合う学習時間が設定されている(厚労省認定規則に則り編成)。</p> <p>②あはき学校養成施設認定規則、および柔道整復師学校養成施設指定規則の一部が改正(平成29年4月1日施行)されたことに伴い、授業および臨床実習の時間数を増加させ、通信教育を付加した、新しい教育計画を策定し、実際の教育(1~2年生)を実施した。</p> <p>●教員養成科</p> <p>教育目的に合う人材を養成するために、各科目における到達レベルを設定し、それに合う学習時間が設定されている(厚労省指定基準に則り編成)。あはき教員養成機関指定基準の一部改正(平成30年4月1日より施行)に伴い、新しい教育計画を策定し、実際の教育を実施した。</p>	厚生労働省認定規則、および指定規則 学則 シラバス	④ 3 2 1
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>各学年の目標に合わせて、体系的にカリキュラムを編成している。</p> <p>1年次は、基礎的な科目を中心に編成。</p> <p>2年次は、基礎的な知識をもとに疾病などの臨床的な科目で編成。</p> <p>3年次は、臨床的な科目に重点を置き、臨床現場において役立つ力を養う科目で編成。</p> <p>●教員養成科</p> <p>1年次は、専門基礎科目は臨床医学論、専門科目は、はりきゅう臨床学・応用学、あまし臨床学・応用学、関連科目および臨床実習を中心に編成している。</p> <p>2年次は、人文科学、卒業論文のほか教職教育科目、専門基礎科目は、人体形態学論、人体機能学論、社会医学特論、専門科目は東洋医学特論、臨床実習を中心に編成している。</p> <p>平成30年度から、1年次を臨床専攻課程(前期課程)、2年次を教員養成課程(後期課程)とした。</p>	学則および別表 学習のめやす シラバス	④ 3 2 1
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①卒業生や業界企業によるキャリアガイダンスや、実技体験型の企業説明会を実施した。</p> <p>②臨地実習(授業)として陸上競技大会、柔道大会等の現場において救護活動を見学させた。</p> <p>③臨床の幅を広げるとともに、スキルアップするための臨床講座、およびゼミを実施した。</p> <p>④同業よりも少し範囲を広げ、実践経験豊富な講師を招いてのセミナーを行った。</p> <p>⑤卒業生向けに卒後臨床研修講座を13講座実施した。</p> <p>●教員養成科</p> <p>①附属施術所における臨床実習をとおして患者施術を実施。</p> <p>②学外の臨床研修施設において、実習(アドバンスコース)を実施。</p>	シラバス キャリアガイダンスの実施資料 企業説明会の実施資料 スポーツ大会等の臨地実習 モチベーションアップセミナー資料 ゼミ資料 卒後臨床講座実施資料	④ 3 2 1

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

3. 教育活動

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
3-5 関連分野における実践的な職業教育(医療機関との連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①臨床経験豊富な専任教員および講師による授業および臨床実習を実施した。</p> <p>②所轄官庁に届け出る「臨床実習指導施設」を充実させ、臨地実習を積極的に実施した。</p> <p>③陸上競技大会医務室等のスポーツ現場において、救護活動を見学体験させた。</p> <p>④スポーツ、美容、不妊治療、セルフケア等、幅広い分野で特別講義を実施した。</p> <p>⑤競技者へのトレーニング法、ケガ予防法について、実際のスポーツトレーナーによる授業時間外の講習(柔道整復科のスポトレゼミ、スーパートレーナーコース)を実施した。</p> <p>●教員養成科</p> <p>臨床経験豊富な講師陣による資格保持者に対する実践的授業 附属施設における充実した臨床実習 学外の臨床施設における実習(アドバンスコース)が用意されている。</p>	<p>臨床実習指導実施資料</p> <p>実務経験豊富な教員による授業一覧</p> <p>陸上競技大会医務室見学実習報告書</p> <p>モチベーションアップセミナー資料</p> <p>ゼミ実施資料</p> <p>特別授業実施資料</p> <p>スーパートレーナーコース実施資料</p> <p>東京ヤマソン実施資料</p>	④ 3 2 1
3-6 授業評価の実施・評価体制はあるか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>科目ごとに学生による授業評価アンケートを実施し、その結果を校長に報告すると共に、校長の指示のもと、科長と担当教員とで検討し、授業の改善を図っている。</p> <p>●教員養成科</p> <p>授業が卒業後に役立つかを見極めることに視点を置いたアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、校長および科長と担当教員で話し合いを持っている。</p>	授業評価等のアンケート調査結果	④ 3 2 1
3-7 学生の研究に対する支援体制はあるか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①東洋療法学校協会の学術大会への研究発表を募り、研究費支援や指導をしている。</p> <p>②学園主催の呉竹医学会において、2年生に研究発表を募り、研究費支援や指導をしている</p> <p>③教員によるゼミ活動、同好会活動を行っており、活動費等の支援をしている。</p> <p>●教員養成科</p> <p>①卒業論文提出がカリキュラムに組み込まれており、研究費や指導をとおして支援をしている。</p> <p>②呉竹医学会や全日本鍼灸学会において研究発表を募り、研究費支援や指導をしている。</p>	<p>研究経費申請書(呉竹医学会・卒論)</p> <p>呉竹医学会抄録</p> <p>全日本鍼灸学会雑誌</p> <p>各教員によるゼミ資料、同好会資料</p>	④ 3 2 1
3-8 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①外部の実務経験豊富な教員(あはき科5年以上、柔道整復科7年以上)による認定実技評価を学生が受けた。但し、あはき課程に関しては、東京療法学校協会において試行の段階である。</p> <p>②学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会を年に各2回実施している。</p>	<p>はき実技認定試験実施要項</p> <p>あま指実技認定試験実施要項</p> <p>柔道整復認定実技試験実施要項</p> <p>学校関係者評価委員会実施要項</p> <p>教育課程編成委員会実施要項</p>	4 ③ 2 1
3-9 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>学則、および学内規定、シラバスに成績評価・単位認定の基準が明記されている。</p> <p>高等教育無償化(修学支援)確認校として、上記基準を情報公開した。</p> <p>●教員養成科</p> <p>学則、および学内規定、シラバスに成績評価・単位認定の基準が明記されている。</p>	<p>学則</p> <p>学内規定</p> <p>シラバス</p> <p>ホームページ情報公開</p>	④ 3 2 1

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

3. 教育活動

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
3-10 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①国家試験合格に必要な知識を効率よく修得する工夫(Kuretake 塾の知見等)をしている。</p> <p>②成績不良者に対しては補習を実施している。</p> <p>③担任による成績不良者面談と個別指導を実施している。</p> <p>TCI コーチング講座受講経験を活かして学生の悩み相談を受け、学業不振や経済的困難等による中途退学を抑制している。特に身分にかかわる重要事項については、担任は科長と相談し、別途学生面談を行っている。</p> <p>●教員養成科</p> <p>あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師に係る学校又は養成施設での教員資格取得のための教育分野の講義、演習、実習を実施している。</p>	あはき科・柔道整復科のシラバス 国家試験予備校 Kuretake 塾の資料 学生面談資料 TCI コーチング資料 教員養成科のシラバス	④ 3 2 1
3-11 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>専修学校設置基準、あはき師養成施設指定規則および柔道整復師養成施設認定規則等の法令に定められた資格を条件として優秀な教員を採用している。</p> <p>●教員養成科</p> <p>認定規則に則し、各分野の専門性を有し、資格と臨床歴を兼ね備えた教員を確保している。</p>	指定規則 認定規則	④ 3 2 1
3-12 関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	<p>●あはき科・柔道整復科●教員養成科</p> <p>①全日本鍼灸学会、接骨医学会等の参加費用は学校側で負担し参加させている。</p> <p>②呉竹学園主催の呉竹医学会を開催し、発表と講演を通して教員の資質の向上を図っている。</p> <p>③呉竹会(校友会)の講演会に教員全員が参加し、知識・技術の向上を図っている。</p> <p>④附属施術所において、教員の臨床力アップを図っている。</p>	教育センターによる講座案内 学内研修会実施要項 業団開催の学会開催要領	④ 3 2 1
3-13 職員の能力開発のための研修等が行われているか	<p>●あはき科・柔道整復科●教員養成科</p> <p>①毎年、全員を対象とした学内研修を行い、教員としての意識付けを行っている。</p> <p>令和元年度は、学外臨地実習の状況と課題について3校から発表を行い情報共有した。</p> <p>②TCI コーチングの講習を退学者対策に生かしている。</p> <p>③FD委員会を学園内に設置しており、各校の学科責任者、補佐クラスがFD委員として出席し、能力開発のための検討および活動を行った。</p> <p>④医科大学に教員を派遣し、研修を受けることにより教育能力の向上を図っている。</p>	学内研修会実施資料 TCI コーチング資料 FD委員会資料	④ 3 2 1

(1)課題

- ①優れた教授力、指導力を持った教員ならびに十分な臨床能力を持った教員の養成が必要である。
- ②実践的な知識と技術が身につくような職業教育が必要である。
- ③医療系専門職としての臨床力の養成が十分とはいえない。

(2)今後の改善方策

- ①FD活動を通じて、教員の教育力、指導力の向上を図っていく。
- ②社会や業界ニーズを踏まえた臨床講座を増やし、実践性のある職業教育を目指す。
- ③附属施術所の患者数を十分確保し、臨床実習・臨床研修の充実を図るとともに、外部の臨地実習施設での臨床実習を、3年間で85時間(鍼灸科・鍼灸マッサージ科)、128時間(柔道整復科)以上実施する。
- ④開業支援、災害と鍼灸などの授業を実践する。
- ⑤課外授業として、臨床の幅を広げる講座を取り入れ、実践的な臨床技術に触れさせる。
- ⑥将来を展望するためのキャリアガイダンスを全学年において実施する。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

4. 学修成果

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
4-1 就職率の向上が図られているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <ol style="list-style-type: none"> ①臨床教育を充実させて臨床力の向上を図り、学生が自信を持てるようにしている。 ②卒業後を展望させるため、卒業生を中心とした治療家によるキャリアガイダンスを施した。 ③就職企業説明会を6月、10月、3月の計3回実施した。 あはき、柔整ともに毎回各々30社程度が参加し、学生は延べで150名以上が参加した。 ④3年次の期中と卒業時に進路状況調査を行い、就職活動の状況や内定状況を把握した。 ⑤国試終了後に、未だ就職先が決まっていない学生に対して、個別企業相談会を実施した。 ⑥卒業時の就職率は80%未達の科がある。国試合格後の追跡調査では達成している。 <p>●教員養成科</p> <p>6月に、全国のはり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師養成校に教員採用の求人依頼を送付し求人情報を掲示した。教員養成科の少ない地方の専門学校に出向き、PRした。</p>	学則 事業計画 臨床実習実施計画 キャリアガイダンス実施計画 就職説明会で配布した求人冊子資料 進路調査結果 求人情報掲示	4 ③ 2 1
4-2 資格取得率の向上が図られているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <ol style="list-style-type: none"> ①成績不良者に対する補習授業(無料)を徹底して行い成績の底上げを図った。 ②3年生に対しては通常授業に加え、朝補習等の時間外補習を行い、国試合格力を強化した。 ③国家試験受験用の出版物(ダイジェストスタディー)を発行している。 ④国家試験予備校 Kuretake 塾のノウハウを、在校生の国試対策(基本問題の解答能力向上)に活用した。 ⑤2019年度国試合格率(第28回 :新卒者)では、全ての科で全国平均を上回った。 本校 あま指師 96%、はり師 93.8%、きゅう師 93.8%、柔道整復師 91.8% 全国平均 あま指師 93.9%、はり師 89.3%、きゅう師 88.9%、柔道整復師 84.8% <p>●教員養成科</p> <ol style="list-style-type: none"> ①出席状況、成績状況について、担任が状況を把握し、個別面談により改善を図っている。 ②時間外での技術修得の場を与えている。 ③卒業年次に、臨床能力評価試験を受験し、全員が合格した。 	国家試験対策の計画、教材 授業時間外の補講・補習の計画、教材 国家試験受験用の出版物 Kuretake 塾の教材	④ 3 2 1
4-3 退学率の低減が図られているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学力低下傾向があり、成績不良者の把握と補習により、1年次から退学者対策をした。 ②担任制により、きめ細かく個別相談、面談を実施し、早期に学生本人の課題を把握した。 ③学生支援室を中心に、学生の経済的支援、相談を実施した。 ④欠席率の推移を把握し、欠席率が20%を超えた時点で保証人にも通知している。 ⑤入学前授業を行い、入学後の学生生活がスムーズに送れるよう対策をした。 鍼灸科・鍼灸マッサージ科 :計2回実施。 柔整科 :11月~2月計4回実施。 ⑥退学率状況や退学理由について分析し、対策をしているが必ずしも低減に至っていない。 	成績不振者の把握(議事録等) 補習授業の資料 面談シート等、個別相談の資料 TOI コーチング資料 保護者への出欠状況通知資料 経済的支援実績資料 入学前授業実施資料	4 ③ 2 1

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

<p>4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p>	<p>●あはき科・柔道整復科 ①学会・業界の学術大会、校友会主催の講演会や呉竹医学会等をとおり、卒業生、在校生の活動状況を把握している。 ②校友会が発行している会報誌により評価すべき卒業生の活躍を紹介している。 ③ホームページやSNSで卒業後の活躍を紹介するため、情報収集している。 ④卒業臨床研修講座を受講する卒業生と交流している。 ⑤就職説明会に治療院企業の担当者として卒業生が来校し、学校として情報収集をしている。 ⑥卒業生の社会的活動状況を一括して把握できる資料は無い。</p> <p>●教員養成科 はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師養成校の専任教員および講師として活躍していること、並びに臨床家として開業や勤務の形態で業界に関わっていることを把握している。</p>	<p>ホームページ 学校案内 呉竹医学会抄録 学会誌 校友会会報誌「くれたけだより」 SNS記事 卒業臨床研修講座の受講者履歴 就職説明会参加企業一覧</p>	<p>4 ③ 2 1</p>
<p>4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</p>	<p>●あはき科・柔道整復科 ①卒業生に対し3月に本校独自の進路状況調査を実施し、国試合格発表後には追跡調査を行っている。 ②各科学校協会が実施する免許取得者の進路状況アンケート調査に参画している。 ③卒業後のキャリア形成は、卒業生の業界における活躍状況である程度把握しているが、定量的な効果の把握や、活躍者、卒業後のキャリア形成一覧が無い。</p> <p>●教員養成科 卒業後のキャリア形成への効果は大方把握しており、教育計画の参考にしている。</p>	<p>進路決定報告届(本校書式) あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師免許取得者の進路状況アンケート調査 柔道整復師養成施設卒業生進路状況アンケート調査</p>	<p>4 ③ 2 1</p>

4. 学修成果

(1) 課題

- ①学習意欲、職業意識が低い。
- ②補習授業への参加者が少ない。
- ③成績不振、出席不足による留年者が、いずれ退学してしまうケースが多い。
- ④卒業生の動向並びに就業形態の把握について、完全ではない。

(2) 今後の改善方策

- ①初年次教育の一層の充実を図ると共に個別対応を入念に行う。
- ②成績不良者に対しては補習への参加意識を高める努力をする。
- ③退学者を出さないための対策を学園および学校としてプロジェクトチームを立ち上げ取り組んで行く。
併せて、本校では成績と出席状況等を見ながらクラス担任が、適切な個別指導をしていく。
- ④校友会会報誌送付等を介して卒業生の動向を把握する。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

5. 学生支援

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①求人検索システムにより本校への1000件以上の求人情報が常時閲覧可能である。 ②就職企業説明会を年3回実施し、同時に求人冊子を配布して学生の就職活動を支援した。 ③キャリアガイダンス(業界の実状・職域の紹介・就活の仕方等)を実施した。 ④教務、事務が連携して、進学、就職相談をしやすい雰囲気を作っている。</p> <p>●教員養成科</p> <p>①求人情報を掲示・閲覧できるようにしている。 ②科長・担任が相談窓口になっている。</p>	<p>本校ホームページでの求人検索システム(CareerMap) 就職相談会配布資料 キャリアガイダンス実施スケジュール 進路調査票および進路調査結果募集要項</p> <p>鍼灸マッサージ教員養成科の募集案内 筑波大学理療科教員養成施設の募集案内</p>	4 ③ 2 1
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①クラス担任制をとり、個別に学生の学業・生活・就職等の相談を受けている。 ②TCIコーチングシステムを学んだ教員がおり、担任を中心に学生の状況把握に努めている。 ③学生支援室で、奨学金や給付金、経済的困窮者に対する相談を専門的に行っている。 ④メンタルケアを目的とした専門的な相談窓口は出来てない。</p> <p>●教員養成科</p> <p>科長が学校心理士の資格を有し、担任と協議しながら対応に当たっている。</p>	<p>学生相談室の設置 担任による面談ノート TCIコーチングシステム資料 学生支援室</p>	4 ③ 2 1
5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	<p>●あはき科・柔道整復科・教員養成科</p> <p>①学費納入に関する相談は随時事務局にて受け付けている。 ②授業料の分納を所定の範囲で許可している。 ③以下の制度を学生の状況に応じて適用するとともに、学外制度の取り扱い窓口となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構奨学金および東京都奨学金等の奨学金。 ・金融機関(ジャックス)と提携した、呉竹学園提携ローン制度。 ・社会人に対する専門実践教育訓練給付金制度。 ・経済的理由による学費支援制度(学園独自+自治体給付)。 ・大卒や医療資格保有者に対する、授業料の一部免除制度(夜間特修コース)。 ・2科同時入学者および学内進学者に対する、入学金および学費の一部免除制度。 ・卒業生が他科に入学する場合の、入学金および学費の一部免除制度。 ・校友会推薦による入学者に対する、入学金の一部免除制度。 ・学外からの入学者に対して、養成施設の施設長の推薦により、入学金の一部を免除する推薦制度(教員養成科)。 	<p>学費分納願 日本学生支援機構 東京都奨学金募集要項 学生募集要項 専門実践教育訓練給付制度資料</p>	④ 3 2 1
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	<p>●あはき科・柔道整復科</p> <p>①すべての学生を対象とした健康診断を年1回行っている。 ②入学時には全員に胸部X線撮影を行っている。 ③各校舎に保健室を備えるとともに、学校附属施術所を特別施術料で利用させている。</p> <p>●教員養成科</p> <p>健康診断、結核検診以外に希望者に対してB型肝炎ワクチンの接種を実施している。</p>	<p>健康診断受診票 胸部X線撮影診断結果 B型肝炎ワクチン接種実施簿 附属施術所の実績報告書</p>	④ 3 2 1

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

5. 学生支援

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	●あはき科・柔道整復科●教員養成科 ①お灸同好会、古典研究会、柔道部等の課外活動に対して学校施設の提供および補助金の支給を行い、必要に応じて教員が活動をサポートしている。 ②教員によるゼミナールを開催した(古典鍼灸、良導絡、小児鍼、中医学、緩和医療、トレーニングゼミ、手技療法を学ぶ会等	部活・同好会・ゼミナール募集要項	④ 3 2 1
5-6 学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮運営会社と提携し、遠隔地の学生に便利で安全な生活環境を提供している。 今後の、全国区での学生募集に対して、より積極的に活用していく。	共立メンテナンス(株)との指定学生寮契約	④ 3 2 1
5-7 保護者と適切に連携しているか	①成績、出席に関することについては保護者に通知し、場合によっては面談を行う。 ②体調不良などの健康面についても、保証人(保護者)とも連絡を取り対応しており、内容によっては、3者面談を行っている。 ③保護者全体に対する説明会は行っていない。 ④学校の年間授業計画、行事計画等については学生をとおして伝えている。	成績・出席不良者の保証人(保護者)への通知書類 保護者との面談記録	4 ③ 2 1
5-8 卒業生への支援体制はあるか	①国家資格を取得した者を対象に、附属施術所において卒業臨床研修生を受け入れている。 ②テーマ別の卒業臨床研修講座を13回開講し、卒業後の臨床力向上を支援している。 ③求人システムの閲覧、求人依頼、卒業生を優先した企業説明会。 ④呉竹医学会への参加、東京呉竹会が主催する講演会に参加させている。 ⑤学生ホール、図書室の利用等	研修願/卒業臨床研修講座募集要項 呉竹会会員証/呉竹会規約 くれたけだより(校友会会報誌) ホームページの求人検索システム	④ 3 2 1
5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	①夜間コースを設置している(鍼灸科夜間特修コース、柔道整復科夜間特修コース)。 ②専門実践教育訓練給付の認定学科がある(夜間コースはいずれも対象)。 ③専門書が充実した図書室、視聴覚室、Wi-Fi環境が整った学生ホールを使用できる。 ④健康増進法の一部を改正する法律(平成30年法律第78号)に基づき学内は全面禁煙とした。	募集要項 専門実践教育訓練給付案内資料 施設整備・環境保全資料	4 ③ 2 1
5-10 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	①高校で実施される進路ガイダンスに力を入れ、模擬実技を含め、資格、仕事の内容、卒業後の進路等について説明している。 ②高校による学校訪問を受け入れ、本校の職業教育の概要を説明している。 ③高校に出向き、スポーツトレーナーになるための啓蒙講座を開催した(東大和高校)	高校校外ガイダンス参加実績 学校訪問受け入れ実績 スポーツトレーナーになるための講座資料	④ 3 2 1
5-11 国家試験不合格者に対する支援体制はあるか	国家試験不合格者には、卒業後においても、国家試験予備校 Kuretake 塾にて、安価な受講料で学力向上、試験突破のための教育支援を行っている。	Kuretake 塾募集要項	④ 3 2 1

(1)課題

- ①学校の教育方針、教育内容、授業計画等に関する保護者への情報提供が十分とは言えない。
- ②高校との連携による本校の職業教育の取組をより充実させていきたい。
- ③学生のメンタル面でのケアが十分とはいえない。
- ④部活動、サークル活動等への支援が満足とはいえない。

(2)今後の改善方策

- ①保護者に学校の教育方針、計画、学業対策等について、理解と協力が得られるような対策を検討する。
- ②高校との連携を図ることにより、医療系の中でも職業特性が強い本校の専門職の理解を深めて頂くよう努めていく。
- ③心の問題に対応できるカウンセリングについて検討していく。
- ④サークル活動を希望する学生に対応できるような環境を整えていく。
- ⑤臨床実習から就職への行動を促していくために臨床実習施設による就職説明会を実施する。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

6. 教育環境

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	①厚生労働大臣認定の養成施設として、法令で定められた教育施設、設備を整備している。 ②建築物衛生法(建築物における衛生的環境の確保に関する法律)に従い、特定建築物年間管理計画書に沿って建屋環境を管理している。 ③四谷校舎、代々木校舎ともに、貸出可能な図書室を備えるとともに、Wi-Fi 環境や飲料水の自販機が整った学生ホールを設置し、学生が集い、憩いの場を提供している。 ④最新の教育設備を完備した四谷校舎新1号館が竣工した。	養成施設設置基準 特定建築物年間管理計画書 建屋の年間整備計画書 環境測定の結果	④ 3 2 1
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	●あはき科・柔道整復科 (学外) ①臨床実習指導施設の認定を受けた外部治療院において臨床実習を行った(あはき、柔整)。 ②陸上競技大会や柔道大会等を同上施設として認定を受け、見学実習を実施した(柔道整復)。 ③東京医科大学にて3年次(希望者)に人体解剖見学実習を実施した。 ④上海中医薬大学との交流をはかり、希望する学生を対象に第31回短期留学を実施した。 (学内) ⑥附属施術所で臨床実習を実施した。 ●教員養成科 (学外) ①東京歯科大学および東京医科大学にて1年次に人体解剖見学実習を実施した。 ②上記と同じく上海中医薬大学との交流をはかり、短期留学を実施した。 (学内) ①附属施術所で臨床実習を実施している。 ②上記の人体解剖見学実習、短期留学の他に自校他校を含め教育実習を実施している。 ③学外の4施設で、あまし臨地実習を実施している。	外部の臨地実習実施要領 陸上競技大会見学実習実施要項 臨床実習計画書 人体解剖見学実習実施計画 上海短期留学実施計画	④ 3 2 1
6-3 防災に対する体制は整備されているか	①消防計画を策定し、消防点検、消防訓練(地震発生時訓練)を行って、防災対策をしている。 ②防災を含む、危機管理マニュアルを作成し、リスク発生の事態に備えている。 ③大災害発生時に備え、帰宅困難時を想定した飲料水、食料等の備蓄をさらに充実させた。	危機管理マニュアル 災害時における教職員マニュアル 防災訓練実施要項	4 ③ 2 1

(1)課題

- ①大震災を想定した環境整備や備蓄等を充実させる必要がある。
- ②附属施術所での臨床実習の患者数が十分とはいえない。

(2)今後の改善方策

- ①大震災の対応マニュアル作成を検討する。
- ②附属施術所の新患を増やすための対策を施術所に所属する教員が中心となり検討する。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

7. 学生の受入募集

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
7-1 学生募集活動は、適正に行われているか	<p>①専修学校各種学校協会の倫理規定に従い、適正に学生募集を行っている。</p> <p>②受験生を十分に確保するため以下を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内およびホームページについて、年度毎の情報更新を確実に実施した。 ・学生募集支援システムを活用し、受験生を入学まで一貫してフォローした。 ・高校ガイダンスへの参加、高校進路指導部の訪問をととして学校PRを積極的に行った。 ・鍼灸科・柔整科夜間特修コースの対象者を高校卒見にも拡大した(H30年度より)。 ・高校生向け、治療家を目指すマンガを発行。Ver.1 および Ver.2 を 3000 部以上配布した。 ・専門実践教育訓練給付の認定(鍼灸マ科、鍼灸科夜間、柔整科夜間、教員養成科)。 ・WEB 出願システムを導入し、金融機関での検定料納付や、出願書類の郵送を無くすことにより受験生の利便性を高めた。 ・学校、企業、学生の3者にメリットのある、3層連携活動(啓蒙)を治療院企業に展開した。 ・全国学生トレーナーの集い(名古屋)に教職員が参加し、医療資格の取得をPRした。 	<p>専修学校各種学校協会の広告倫理運用委員会規則</p> <p>学生募集支援システム</p> <p>スタディサプリ for Marketing 仕様説明書</p> <p>高校ガイダンス参加記録</p> <p>募集要項</p> <p>業界紹介マンガ</p> <p>(ターニングポイント、ダブルライセンス)</p> <p>ホームページのWEB出願ページ</p> <p>3層連携活動の説明資料</p>	④ 3 2 1
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	<p>①ホームページ並びに学校案内では学校の教育理念、教育内容、教育成果を説明している。</p> <p>②学校案内の改定及びホームページのリニューアルを進めている。</p> <p>③高校生、社会人若年層向けに、SNSによる情報発信に力を入れている。</p> <p>④広告業者と提携し、SEO、リターゲティング、AI導入など、新たなHP広報ツールを導入している。</p> <p>⑤教育成果は国家試験合格に留まらず、就職までと考え、分野別に就職実績を伝えている。</p> <p>⑥就職率については卒業時にアンケート調査を行い、卒業後にも追跡調査を行って、就職状況を把握した。</p>	<p>ホームページ情報公開</p> <p>SNS(Face Book、Twitter、Instagram、line、YouTube)による発信履歴</p> <p>学校案内</p> <p>くれたけだより(校友会会報誌)</p> <p>学校説明会、個別見学</p> <p>職業実践専門課程情報公開資料</p>	④ 3 2 1
7-3 学納金は妥当なものとなっているか	<p>H30 年度適用の新カリキュラムによる授業時間増や、臨地臨床実習のための経費負担増について、妥当な学納金水準を検討した。鍼灸マッサージ科の入学金を減額する一方、新たに施設費、実習費の項目を追加し、2020 年度生から適用する学費改定を行った(学則変更)。</p>	<p>他の養成施設の情報収集</p> <p>2020年4月1日施行の学則</p>	④ 3 2 1

(1)課題

- ・社会人受験生の増加施策。特に柔道整復科においては、一般社会人の減少が顕著である。
- ・少子化による高校生の減少に伴い、選別に耐える魅力的な学校であることをPRすることが必須。学校淘汰の時代であることを認識すべきである。

(2)今後の改善方策

- ・3層連携活動の中で、企業内人材の発掘、再活用を企業と連携して行っていく。
- ・高校生が望む治療家像を、社会ニーズとして捉え、旧来の治療家像に囚われることなく、スポーツ、美容、健康増進、高齢社会などの広い視点で、教育内容を用意し、受験生にPR出来るようにしていく。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

8. 財務

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	①学内の設備資金等については、基本的に学園内留保金をもって充当している。100周年事業の一環として進めている新校舎建て替え費用の負担について、部分的に借入金を当てた。 ②教員養成科のように定員充足する一方で定員を下回る学科がある。学校運営に必要な学生数を入学充足率80%、退学率5%以下として、募集対策(企業連携)と退学者対策(早期把握)を検討し、開始した。	経理計画 入学者の前年度比較資料 退学者の前年度比較資料	4 ③ 2 1
8-2 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	①概ね確定収入であるが、入学時点で定員充足しないことに加えて、中途退学者の増加が収入減の要因となっている。 ②支出の多くは固定的支出であり、事業計画と合わせ予算策定時に織り込むことができています。 ③経費削減可能な項目を洗い出し、昨年度も経費削減を継続した(マット代、印刷費)。 ④四ツ谷校舎本館から1号館への引っ越しにかかる費用が増大した。	予算書・決算書	4 ③ 2 1
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	①監事による財務監査を行うと共に、財務状況決算帳票について、公認会計士による決算検討会を実施した(法人事務局)。 ②新創監査法人による外部監査を実施し、帳票類と承認フローが適正かをチェックした。	会計監査報告 内部統制資料	④ 3 2 1
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	①情報開示申出により、以下の内容を公開している。 事業報告/資金収支計算書/消費収支計算書/貸借対照表/財産目録、資金収支予算書/消費収支予算書 ②学校法人会計形式により、呉竹学園法人本部が作成したものを、HPに公開している。	ホームページの情報公開資料	④ 3 2 1

(1) 課題

- ①収入のほとんどは学生の納付金によるため、学生の定員充足率の増減によって一変してしまうという課題を持つ。
- ②学生定員を大きく下回る学科が出てきており、募集対策の強化が必要である。
- ③学生の若年化(高校卒見の比率と相関)、退学率が上昇傾向にあり、学校運営の大きなリスクとなっている。

(2) 今後の改善方策

- ①学校説明会を含め、定員を充足する募集を実現する為、今まで以上に広報力の強化を図っていく。
- ②退学率の原因を詳細に調査し、軽減化を図っていく。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

9. 法令の遵守

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	①厚生労働省、文部科学省(新宿区経由)には毎年実施報告書を提出している。 ②学則に変更が生じた場合には遅滞なく関係省庁に届出を行っている。 ③関係法令・諸規則を周知する環境を整え、会議、研修会等において周知を図っている。 ④関東信越厚生局より、鍼灸マッサージ科が、あはき師養成施設指導調査を受け、問題無しとの結果を得た。	養成施設認定規則 文部科学省通達文書 あはき師養成施設指導調査実施資料	④ 3 2 1
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	①平成17年に個人情報保護方針を策定し、個人情報の取り扱いを厳格に定め運用している。 ②個人情報保護管理者を選任し、内部規定の整備を行っている。 ③校舎毎のセキュリティ機器強化とPC毎のセキュリティソフトの設置・更新を確実に、個人情報知らずに漏洩することを防いでいる。 ④教職員に個人情報のメール誤発信事故等の事例を紹介し、防止方法と意識を喚起した。	個人情報管理規定 PC/ネットワークセキュリティ対策資料	④ 3 2 1
9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	①平成19年の法改正により義務化されたことから、以後毎年実施している。 ②学校関係者評価委員会を年2回実施し、委員の意見を学校運営の改善に反映している。 初動教育について検討し、AO入試合格者の入学前授業を複数回に渡り実施した。 (あはき、柔整)	自己点検・自己評価報告書	④ 3 2 1
9-4 自己評価結果を公開しているか	平成21年度から毎年ホームページ上で公表している。	自己点検・自己評価報告書	④ 3 2 1

(1)課題

法令の意図をよく理解した学校運営、教育活動を行うこと。

(2)今後の改善方策

あはき、柔整、養成施設に関する法令以外に、学校保健安全法、健康増進法改正による喫煙禁止条例など、関連する法令に関して情報収集を怠らず、確実に順守していく。

令和元年度 項目別の自己評価表(東京医療専門学校)

2020年5月15日

10. 社会貢献地域貢献

評価項目	現状	根拠 (組織体制、規定、実施状況、資料)	適切-4、ほぼ適切-3 やや不適切-2、不適切-1
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	① 呉竹祭(学園祭)では近隣住民が受療できるチャリティーマッサージ、チャリティー鍼灸を実施し、集まった募金を、四谷本部校舎の近隣にある日本視覚障害者職能開発センターに寄付した。 ② 医師を含めた医療関係者並びに、業団体の会議、外部を含めた教職員の研修の場として本校を提供した。 ③ 鍼灸マッサージ科の附属施術所において地域住民の施術を実施し、大いに活用して戴いた。 ④ 女性を対象とした「女子力アップセミナー」を学校内で行った(あはき)。	呉竹祭(学園祭)実施要項 リンパ浮腫講習会 救急救命講習会(JTAS) 附属施術所実績報告書 外部公開セミナーのHP 公開実績	④ 3 2 1
10-2 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	地域スポーツイベントの医療ボランティアに、教員や学生が参加した。 ・東京ヤマソン(マラソン大会) 学生が20名近く参加。 ・柔道大会の救護 ・渋谷区エリアのゴミ拾い活動(東専各や、赤十字等が協賛)について学生に掲示し参加を促した。	東京ヤマソンボランティア 柔道大会資料 地域ゴミ拾い活動の掲示	④ 3 2 1
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	① 新宿区信濃町子ども家庭支援センター・新宿せいが子ども園内で、母と子の育児セミナーを実施(あはき)。 ② 新宿区東長寺のイベントとして、高齢者向けの健康講習会を実施した(あはき、柔整)。	新宿区信濃町子ども家庭支援センター・新宿せいが子ども園にてセミナー 東長寺における健康に関する講習会 毎日新聞社主催毎日メディアカフェ資料資料 (鍼灸、柔整による健康管理がテーマ)	④ 3 2 1

(1)課題

<p>① 学校に関係したボランティア活動は把握しているが、学生が個人でやっている活動に関しては把握していない。</p> <p>② 一般住民向けの告知が難しい。町内の看板等に告知したとしても当日の参加者の把握が困難である。</p> <p>③ ホームページによる予約制の一般参加者募集ができるとよい(システム構築が必要のためコストがかかる)。</p>

(2)今後の改善方策

<p>① ボランティア活動は学業に支障がないことを条件に支援、指導していく。</p> <p>② 学校や校友会主催の講演会でも地域の人が参加できるようにしていく。</p> <p>③ 行政や公共施設に関与してもらう事により一般住民向けの告知をスムーズにしていく。</p>
